



報道関係各位

NHK international, inc.
一般財団法人 NHK インターナショナル

文化庁メディア芸術祭国内巡回事業 企画展「TRACE」開催のご案内

文化庁が主催、一般財団法人 NHK インターナショナルが企画・運営する「文化庁メディア芸術祭国内巡回事業」は、優れたメディア芸術作品の鑑賞機会を提供することを目的とし、国内各地の関連施設やフェスティバル等にて文化庁メディア芸術祭の受賞作品を上映、展示しています。

このたび、「札幌国際芸術祭 2014」の連携事業として文化庁メディア芸術祭受賞作家の活動を紹介する企画展「TRACE」(トレース)を開催します。

本展では、メディアアーティストの橋本典久(はしもと・のりひさ)氏の作品を一堂に紹介する「橋本典久の世界 虫めがねと地球儀」、さらに北海道出身の今 敏(こん・さとし)監督のアニメーション作品を紹介する「今 敏 レトロスペクティブ」を実施します。

「札幌国際芸術祭 2014」とともに多くのみなさまにご来場いただけるよう、周知にご協力賜りますようお願い申し上げます。

文化庁メディア芸術祭国内巡回事業札幌巡回 企画展「TRACE」(トレース)

会期: 2014年8月1日(金)～8月10日(日)

10:00～19:00(最終日のみ17:00まで)

会場: 北翔大学北方圏学術情報センターPORTO ギャラリー
(北海道札幌市中央区南1条西22丁目1-1)

サテライト会場: NHK札幌放送局 1Fロビー(北海道札幌市中央区大通西1)

入場料: 無料

URL: <http://jmaf-promote.jp/>

主催: 文化庁

共催: 札幌市、北翔大学芸術学科

企画監修: 札幌メディア・アーツラボ(SMAL)

企画／運営: 一般財団法人NHKインターナショナル

本件に関する問い合わせ先

文化庁メディア芸術祭国内巡回事業事務局(一般財団法人NHKインターナショナル内)

担当: 座馬(ざんま)・小山(おやま)

E-mail: jmaf-info@nhkint.or.jp

TEL: 03-6415-8500

FAX: 03-3770-1829



文化庁メディア芸術祭札幌巡回 企画展「TRACE」

会期:8月1日(金)~8月10日(日)10:00~19:00(最終日のみ 17:00 まで)

会場:北翔大学北方圏学術情報センターPORTO ギャラリー1F、2F、3F、ホール

身近な事象を様々な手法でうつしとり、今まで見えていなかったものを鮮やかに現出させるメディアアーティストの橋本典久(はしもと・のりひさ)。精緻な描写と、夢と現実が交錯する表現で世界的に高い評価を受けるアニメーション監督の今 敏(こん・さとし)。

本展では独自の視点で世界をトレース(trace=描く、写す、追跡する)する二人の作品を中心に、メディア芸術の魅力を紹介します。

あわせて、本展アーティストである橋本氏によるワークショップとガイドツアー、今 敏監督作品の特別上映&トークイベントも開催します。

作品展示

■展示 I 「橋本典久の世界 虫めがねと地球儀」

360°の風景を写しこんだ球体写真、人間と同じ大きさまで拡大した昆虫写真、映画や小説1作品分のリズムを可視化した作品。橋本典久は、身近にありながら私たちが普段見落としてしまっている世界を、斬新な手法で鮮やかに浮かび上がらせてます。本展では、橋本の代表作とも言える 1996 年発表の『球体写真 [Panorama Ball]』から『Voice』までの歴代7作品を一堂に展示します。これまでの橋本による作品の変遷を追いながら、新しいメディアの可能性を提示します。



『life-size』

© 橋本典久+scope

■出展作品

『Panorama Ball』(1996-/第7回アート部門優秀賞)

『zerograph』(1998-/第7回アート部門優秀賞)

『life-size』(2003-/第8回アート部門奨励賞)

『Panorama Ball Vision』(2008-)

『ZooMuSee』(2008-)

『Breath』(2011-)

『Voice』(2011-)



『Panorama Ball』

© 橋本典久

橋本 典久/HASHIMOTO Norihisa

1973 年愛知県生まれ、横浜市在住。1998 年武蔵野美術大学映像学科卒業、2000 年筑波大学大学院芸術研究科修了。2003 年「プライベート・パノラマ」(INAX ギャラリー2)、2006 年「越後妻有アートトリエンナーレ」(「森の学校」キヨロロ)、2011 年「橋本典久の世界 虫めがねと地球儀」(ギャラリーエークワッド)など展覧会多数。武蔵野美術大学映像学科、明治大学総合数理学部非常勤講師。平成 15 年度[第7回]文化庁メディア芸術祭アート部門優秀賞、平成 16 年度[第8回]奨励賞受賞。



■展示Ⅱ 「今 敏 レtrospektiv」

2010 年、46 歳の若さで他界した北海道出身の映画監督、今 敏。
いわゆる「子ども向けではないアニメーション」を結実させ、日本のアニメーションの領域と表現の幅を拡大させたことが評価されて、長編2作品が文化庁メディア芸術祭を受賞しました。

今監督はアニメーション制作に関わる以前、アニメーション作品の作風にも通じる背景の緻密さ、美しくリアルな描線を持つマンガ作品も発表しています。本展では、文化庁メディア芸術祭受賞作品を含めた長編アニメーション4作品にくわえ、今監督の初の連載マンガ作品『海綿線』の原画やカラーイラストを展示し、今 敏氏の軌跡をたどります。



『千年女優』

© 2001 千年女優制作委員会



『海綿線』

©KON'STONE, Inc.

■出展作品

マンガ『海綿線』(1990)

劇場アニメーション『パーフェクトブルー』(1998)

劇場アニメーション『千年女優』(2002/第5回アニメーション部門大賞)

劇場アニメーション『東京ゴッドファーザーズ』(2003/第7回アニメーション部門優秀賞)

劇場アニメーション『パプリカ』(2006)

今 敏/KON Satoshi

1963 年、北海道生まれ。武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科卒業。漫画家として単行本『海綿線』(1990)、『ワールドアパートメントホラー』(1991、いずれも講談社刊)を出版。漫画からアニメーション業界に活動の中心を移し、1998 年長編映画『パーフェクトブルー』で監督デビュー。以後、監督オリジナルによる映画『千年女優』(2002)、『東京ゴッドファーザーズ』(2003)、TV シリーズ『妄想代理人』(2004)、2006 年に筒井康隆原作による映画『パプリカ』公開。2007 年に短編アニメ『オハヨウ』が NHK「アニ＊クリ 15」で放送。NHK 番組「デジスタ」のキュレーターや専門学校「アートカレッジ神戸」で講師を担当。2008 年 4 月からは武蔵野美術大学・映像学科の客員教授に就任。2010 年 8 月 24 日膵臓癌のために急逝。享年 46 歳。

※このほか、会場では、文化庁メディア芸術祭と第 17 回文化庁メディア芸術祭受賞作品を映像やパネルで紹介します。また、マンガ部門受賞作品の閲覧コーナーも設置します。サテライト会場である NHK 札幌放送局 1F ロビーでも、同様の展示を実施します。

イベント

■ワークショップ「デジタルカメラで驚き盤をつくろう！」

講師：橋本典久(アーティスト/武蔵野美術大学映像学科、明治大学総合数理学部非常勤講師)

日時：8 月 3 日(日) 10:30~14:30 会場：展示会場 4F ロビー

対象：中学生以上 定員：20 名 ※参加される方はデジタルカメラをご持参ください。

絵が動いて見えるアニメーション技術のきっかけにもなった驚き盤(フェナキスティスコープ)を、現代のテクノロジーであるデジタルカメラとプリンターを使って作成します。

お申込方法：

8 月 2 日(土)までにお名前、年齢、ご連絡先を下記メールにてお送りください。

E-mail : jmaf-info@nhkint.or.jp



■アーティストと巡るガイドツアー

日時:8月3日(日)15:30~16:30 会場:展示会場 1F ギャラリー ※申込不要

出展アーティストである橋本典久による解説と共に作品を鑑賞するガイドツアーを開催します。

■特別上映&トーク「今 敏・その作品世界」

ゲスト:丸山正雄(株式会社 MAPPA 代表取締役)、今京子(株式会社 KON'STONE 代表取締役)

日時:8月2日(土) 15:00~19:30 会場:展示会場 1F PORTO ホール(300席) ※申込不要

劇場アニメーション『千年女優』『東京ゴッドファーザーズ』の2作品を上映するほか、本作の企画・制作に携わった丸山正雄(まるやま・まさお)さんと、今京子(こん・きょうこ)さんによるトークイベントを実施します。

■タイムテーブル:

15:00~16:30 『千年女優』上映

16:45~17:45 トーク「今 敏・その作品世界」

18:00~19:30 『東京ゴッドファーザーズ』上映



『東京ゴッドファーザーズ』

© 今敏・マッドハウス / 東京ゴッドファーザーズ製作委員会

プログラム上映

■文化庁メディア芸術祭 上映プログラム

日時:8月9日(土) 14:00~17:45 会場:展示会場 1F PORTO ホール ※申込不要

文化庁メディア芸術祭の受賞作品を中心に、3つのテーマでパッケージしたプログラムを一挙上映します。

■上映プログラム:

14:00~15:00 「Front Line~時代の最先端映像」

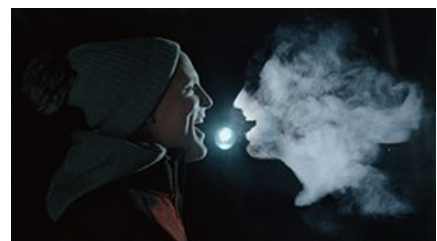
15:10~16:00 「Beyond the Technology~テクノロジーを越えて」

16:15~17:45 「第17回文化庁メディア芸術祭受賞作品~短編アニメーション」



久野 遥子『Airy me』

©2013 Kuno Yoko All Rights Reserved.



Tom WRIGGLESWORTH / Matt ROBINSON

『トラヴィス「ムービング」』

©2013 Red Telephone Box



※本企画展は、札幌国際芸術祭 2014 の連携事業です。

札幌国際芸術祭 2014 Sapporo International Art Festival 2014

テーマ:「都市と自然」[City and Nature]

サブタイトル:「自然」「都市」「経済・地域・ライフ」

会期:2014 年 7 月 19 日(土)～ 9 月 28 日(日)(72 日間)

入場料:共通前売り券 1,500 円など(チケット種類、イベントによって異なる)

主催:創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会

URL:<http://www.sapporo-internationalartfestival.jp/>



SAPPORO
INTERNATIONAL
ART FESTIVAL
2014

連携事業

札幌国際芸術祭2014

関連プログラム

本展の関連プログラムとして、札幌市が主催する「創造都市さっぽろ」推進事業*の展示・フォーラムが開催されます。

*札幌市は平成 18 年 3 月、「創造性に富む市民が暮らし、外部との交流によって生み出された知恵が新しい産業や文化を育み、新しいコト、モノ、情報を絶えず発信していく街」を目指すという意味を示すため「創造都市さっぽろ」宣言を行いました。

■初音ミク「30 システム」展示

主催:札幌市 協力:クリプトン・フューチャー・メディア株式会社

日時:8 月 1 日(金)～10 日(日) 10:00～19:00(最終日のみ 17:00 まで)

会場:北翔大学北方圏学術情報センターPORTO 1F アトリウム

今春スタートしたレディー・ガガのワールドツアー「LADY GAGA'S artRAVE: the ARTPOP ball」の北米公演において、オープニング・アクトを務めた初音ミク。そのパフォーマンスの核となった映像装置「30 システム(サンマルシステム)」の凱旋展示を行います。オープニング・アクトならではのステージ上での限られた準備時間のなかで、どのように世界レベルのパフォーマンスを実現したのか。未公開ドキュメンタリー映像と共に日本初公開となる「30 システム」の実物をご覧頂ける貴重な機会です。

■フォーラム「札幌クリエイティブ・カンパニー・フォーラム」

主催:札幌市

モデレーター: 水口哲也(ゲームプロデューサー、慶應義塾大学大学院特任教授)

パネリスト: 武邑光裕(札幌メディア・アーツラボ 所長、札幌市立大学デザイン学部教授)、

伊藤博之(クリプトン・フューチャー・メディア株式会社 代表取締役)、

深津修一(株式会社プリズム 代表取締役) ほか

日時:8 月 2 日(土) 13:00～14:30

会場:北翔大学北方圏学術情報センターPORTO ホール(300 席)

「札幌クリエイティブ企業の世界展開の可能性」をテーマに、初音ミクを生んだクリプトンやプロジェクションマッピングなどを製作するプリズムなど、札幌を代表するクリエイティブ企業がどのような実力を持ち、世界視点でみるとどのような位置にあるか、そして世界に向けてどのように展開していくべきかについて討論します。



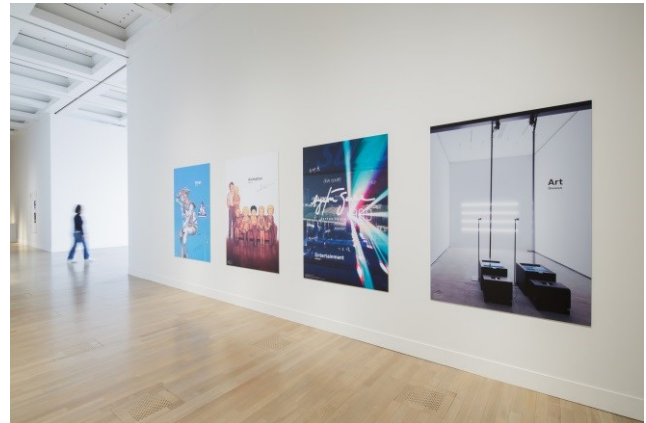
参 考

文化庁メディア芸術祭について

文化庁メディア芸術祭はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの 4 部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルです。平成 9 年度（1997 年）の開催以来、高い芸術性と創造性をもつ優れたメディア芸術作品を顕彰し、受賞作品の展示・上映や、シンポジウム等の関連イベントを実施する受賞作品展を開催しています。昨年度[第 17 回]は、過去最多となる世界 84 の国と地域から 4,347 点の作品の応募があり、文化庁メディア芸術祭は国際的なフェスティバルへと成長を続けています。また、文化庁では、メディア芸術の創造とその発展を図ることを目的に、文化庁メディア芸術祭の受賞作品を国内外で広く紹介する多彩な事業を実施しています。海外・国内展開や創作活動支援等の関連事業を通じ、次代を見据えたフェスティバルを目指しています。

■文化庁メディア芸術祭国内巡回事業

「文化庁メディア芸術祭国内巡回事業」は、国内各地のメディア芸術関連施設やフェスティバル等にて文化庁メディア芸術祭の受賞作品を中心に上映・展示する文化庁メディア芸術祭の関連事業です。



平成 25 年度[第 17 回]文化庁メディア芸術祭受賞作品展

平成 26 年度[第 18 回]文化庁メディア芸術祭

作品募集 2014 年 7 月 7 日(月)～9 月 2 日(火)
受賞発表 2014 年 11 月下旬
受賞作品展 2015 年 2 月 4 日(水)～2 月 15 日(日) ※2/10(火)休館
会場:国立新美術館(東京・六本木)他
ウェブサイト <http://j-mediaarts.jp>
Facebook <http://www.facebook.com/JapanMediaArtsFestival>
Twitter @JMediaArtsFes

